

令和5年度都立王子総合高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	主体的で対話的な指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項の確認 ・「グループワーク・話し合うこと」の言語活動に関する科内研修の実施 ・漢字テスト等による語彙力の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・小説単元等における対話を中心としたグループワーク授業の展開 ・漢字コンテスト等への参加などによる語彙への関心向上
地歴公民	社会科的思考力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識を定着させる ・史資料から読み取る授業を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを実施し、他者の考えや意見を参考にし、自分の考えや意見を発表できるようにしていく。
数学	主体的に学習に取り組む態度の涵養を図る、数学的活動を充実させた授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用による、生徒の興味関心を引き出す発問の工夫 ・協働学習の充実による、数学を用いて説明する活動の充実 ・教員間の授業観察や勉強会による、学習指導力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインシステムの活用による、双方向型取組を深める指導の実践 ・大学入試を見据えた応用力の育成を図る、発展学習の推進 ・数学B「統計的な推測」の組織的な授業開発及び実践
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<p>自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める。知的好奇心や探究心を喚起し科学を学ぶ意義や楽しさを実感させながら自然の事物・現象を主体的に学ぼうとする態度を育てる。</p>	<p>変化の激しい社会の中で生涯にわたって主体的・創造的に生きていくために、自然の事物・現象の中から問題を見いだし観察や実験などを通して科学的に探究する能力と態度を育てる。</p>
保健体育	心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現できる資質・能力の育成	<p>各種運動の特性に応じた技能を習得させ、社会生活における健康・安全についての理解を深めさせる</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考判断し、他者に伝えるられるようにする</p>
芸術	芸術を愛好する心情を育てる	<p>創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを味わう。</p>	<p>主体的に作品や合唱などに取り組めるよう生徒の表現を大切にす。</p>
英語	基礎力の充実と、それに基づく言語活動による運用能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の単語テストで語彙力の拡充 ・1, 2学年でのTGG語学研修参加 ・必修科目で毎学期パフォーマンステストを実施 ・リスニング教材で英語に対応する耳を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必修教科において、意見発表などの運用機会を定期的に設けていく。 ・英語表現を主とした選択授業にてプレゼンテーション、ディベートなどの活動を通し、確かな運用能力につなげていく。
家庭	家庭生活を「総合的」にとらえる視点の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の事象と関連させながら、自己の生活をよりよく実践していけるような教材の工夫・活用 ・実践的、体験的な学習活動の内容を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。 ・技術向上を目指し、検定や専門家を招聘した授業の実施
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・民間補助教材を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・情報Ⅰ各単元の最終課題で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングやデータ活用などの分野で活躍する専門家を招聘し、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習
工業	「考えて作ること」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された要件を満たす作品の設計、製作を行う。 ・加工、組み立ての手順等をあらかじめ考慮した設計、製作を行う。 ・代表的な手工具や電動工具を使用し、使い方とともに手入れ方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の工夫を取り入れる余地のある製作課題を設定する。 ・基本的作業を通して、自身の作品製作に応用できる力を養う。